

# 高圧ガスの性質と緊急時の措置

---

事故発生時には事故の状況を的確に把握し対処するだけでなく、ガスの性質を熟知し、その性質に合った緊急措置を行うことが必要です。

可燃性ガスや毒性ガスでは、ガスの種類毎に消火や除害など処置方法が異なります。また毒性ガスであっても、個々のガスの種類毎に除害剤の種類や人体への影響が大きく異なります。

そのため、個々のガスの性質や対処法を熟知しておき、迅速な対応ができるよう周知しておくことが必要です。

この章では、富山県で多く使用されている高圧ガスの種類毎の性質や緊急時の措置等を示してあります。

左のページは、ガスの特徴や物理的・化学的性質及び注意事項を、右のページは事故時の措置(消火方法、処理剤、漏えい時の措置など)や緊急通報例を示してありますので、取り扱うガスについて見やすい場所に掲示するなどご活用ください。

## ■ 可燃性ガス

---

1. 液化石油ガス(LPガス)
2. アセチレン
3. 水素

## ■ 毒性ガス

---

4. 塩素
5. ホスゲン

## ■ 可燃性・毒性ガス

---

6. 塩化ビニル
7. アンモニア

## ■ 支燃性ガス

---

8. 酸素

## ■ 不活性ガス

---

9. 窒素
10. アルゴン
11. 炭酸ガス(二酸化炭素)
12. フルオロカーボン22
13. フルオロカーボン134a

## ■ 特殊高圧ガス

---

14. モノシラン
15. ホスフィン

